

町の人口

昭和39年4月1日現在
 総人口 28,621人
 内{ 男 13,911人
 女 14,710人
 世帯数 8,299戸
 転入(3月中) 360人
 転出(3月中) 199人



1964. 4. 20

No. 44

発行所 福生町役場
 発行兼 総 務 課
 編集人
 印刷所 昭和印刷KK



昭和39年度予算決る

4億9,9781千円 一般会計

特別会計総額 —— 1億1,7151千円

昭和三十九年度福生町各会計歳入歳出予算は議会報告の議決事項のとおり、去る三月三十日、議会の議決を経て成立しました。

これによると、本年度一般会計予算では、教育、土木、衛生面等に重点がおかれ、教育面では学校建設、土木面では道路の舗装改修工事などが行なわれ、都市計画事業と共に明るく福生町の建設を目指しています。



町長説明要旨

市町村の発展形態を知るには、その市町村の予算額を見ると解ると申しますが、こゝに、昭和三十九年度予算についてご説明申し上げます。その巨額な予算額を見て、我が福生町が大きく発展してきたことについて、今さらながら喜びに絶えない次第であります。

光陰矢の如しと申します。昭和三十五年五月、町長に就任して以来、早や四年の歳月が流れ、来月には、この町の首長選挙が行なわれることになつてまいります。

私が初めて予算編成を手がけたのは、昭和三十六年度予算でありました。そして就任以来、私は一貫した構想の基に、各種事業を各年度の予

算に盛り込み施行してまいりました。都立多摩工業高校および福生団地の誘致、三町共同による、し尿処理場の建設、排水および道路の舗装改修、町立第一小学校の防音工事および校舎の増改築、区画整理事業の推進、役場新庁舎と生活改善センター等各種施設建設等、懸案事業は、一応の完成を見ています。しかしながら、これらの事業の完成を得たのも、常に町民各位の絶大なご支援とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

さて、今後も福生町がなお一層明るく住み良い町として発展していくための、民主的かつ都市的町造りを基本構造とし、各課から提出された予算要求額と、その基本的財源となる歳入額について、あらゆる角度から綿密かつ慎重に審査調整し予算編成を行なう、町議会に上提、議会の議決を経て、こゝに昭和三十九年度福生町歳入歳出予算が一般会計、特別会計とも成立したわけであります。これを見ると、一般会計が四億九千九百七十八万一千円となり、昭和三十八年度当初予算額と比較して二億六千九百八万一千円の増額となり、昨年度当初予算額の倍額を越える増額となつており、これは我が町が益々発展していくために多くの物語が山積されているといえます。なお、補助金、起債(次ページへつづく)

(前ページからつづく)
 等を伴う事業で未確定のもの
 は、今後、更に関係官庁との接
 渉を重ね、決定次第追加予算
 に計上して実施することに
 せん、この中には含まれていま
 せん。

また、本年度予算の調整に
 ついては、昨年の九月に地方
 自治法施行規則の一部が改正
 され、各科目名および数字の
 単位表示等が変つておりま
 す。これをあらかじめ申し上
 げておきます。

では、歳出予算に従い、各
 科目のうち、主なものをごく簡
 単ではあります。ご説明申
 上げますと、総務費では、
 私の就任以来の懸案であり、
 長い間町民の皆さんにご不便
 をおかけしてまいりました役
 場新庁舎がようやく完成し、
 すでに一月から執務を行つて
 いますが、継続事業の最終年
 度として、これに伴う工事請
 負費、その他、庭園工事費、
 附属工事費等に五千二百七
 十五九千円の予算を計上しま
 した。

民生費では、社会福祉費の
 一千四百一十九千円、児童福
 祉費の四百六十四千七百七十
 円、保健衛生費の七百七十七
 千円となっております。

衛生費では、衛生的なゴミ
 の無い町を目標に、新しくじ
 ん芥収集用自動車を一台購入す
 る予算と、すでにこの承知の三
 町共同で運営している西多摩
 衛生組合の負担金等を含む三
 千九百二十万五千円の予算額
 を計上しております。商工費

では、商工団体育成補助金百
 八十四万二千七百円が主で観
 光費等を含む四百九十一万四
 千円となっております。次に土
 木費ですが、教育費、総務費
 に次ぐ多額の予算を計上して
 おります。本年度の主な事
 業としては、町道五〇七号、
 五〇三号、一六九号、七二〇
 号線の舗装新設事業と補助道
 四号線湖沼蓋架設工事等の
 予算とこれらの用地買収費お
 よび補償料等を含む町道新設
 改良費が八百四十九万九千
 四百九十九号線の改修および舗
 装工事とこれらの用地買収費
 町道一三三三線、三二七号線
 の舗装工事費を含む緊急道路
 整備費に四千四百万円の予算
 を計上しました。また、本年
 度も引き続き下りの川護岸工
 事を施工するため計四万圓を
 計上しました。都市計画関係
 では、加美平、武蔵野台地区
 の土地区画整理費として繰出
 金三百万円、Ⅱ、Ⅱ、Ⅱ街路
 用地購入費を含む街路事業費
 六千二百四十五万円を予算に
 計上しております。消防費で
 は、本年度は新設消防自動車
 一台を購入する等非常消防防
 費五百四十二万四千円、貯水
 槽を二ヶ所に新設する費用お
 よび緊急用有線放送施設工事
 費を含む消防施設費二百四十
 五万二千円等が主な予算とな
 っております。合計七百九十九
 万六千円を計上しました。

算額のうち最も多額の予算を
 計上してまいります。皆さんも
 承知のとおり、町立第一小学
 校は昭和三十三年、三十八年度
 の二ヶ年連続で近代的な明る
 い鉄筋コンクリート建ての防
 音校舎に、四月からは全
 小学校が授業を開始できるに
 相成つて、今後はさら
 らに全校が防音校舎になるこ
 とになつて、今年度は、本年度
 は、町立第二小学校と中学校
 一および第二中学校の三校を第
 一小学校とまつたのと同じ防音
 校舎にするため継続事業とし
 て施工して行きたいと思つて
 おります。また、本年度は四千三百
 四十六万二千円の予算を計上
 して第一期防音工事を行な
 います。また、中学校は生徒数
 の増加と遠距離通学を解消す
 るに、町立加美平地区の解消、
 町立町立第二中学校を福生
 病院の裏に建設することが決
 定しており、両中学校とも本
 年度から防音工事が始まるこ
 とに相成つており、予算も八
 千七百八十八万円を計上し、
 決定しております。

その他、議会費、公債費、予
 備費等に、協議しておりますが、こ
 れら歳出額に対する財源とし
 ては、町税の一億五千五百五
 十一万一千円、基地交付金二
 千六百万円、地方交付税四千
 一万円、国庫支出金一億五千七
 百八十九千二百円、使用料及
 び手数料二千七百八十八万三
 千円等が主体になつておりま
 す。特に防音工事の関係で
 国庫支出金が町税をうまわ

る額を示しています。
 次に特別水道について申し
 上げますと、水道事業会計が
 四千五百二十七万円、と場特
 別会計一千八百六十一万三千
 円、公益質屋特別会計九百五
 十萬九千九百四十七万八千一
 千円、土地区画整理事業は、現
 在 新都市建設公社にその事業を
 委託し、事業も着々と進行し
 ておりますが、町として補
 償費等を含む八百九十七万八
 千円を特別会計として予算を
 計上しております。なお、新
 都市建設公社に委託して行な
 う本年度の事業費は二億七千
 五百五十万円となつておりま
 す。昭和四十二年年度まで
 は九億円を上回る経費をも
 つて行ない、これが完成しま
 すと、この地区の様子は大き
 き変化をするものと予測され
 ています。

以上、本年度特別会計は一
 億二千七百五十一万一千円とな
 り、一般会計との総額は実に
 六億一千六百九十三万二千円
 となり、昨年の三億四千三百
 五十九万六千円と比較して二
 億七千三百三十三万六千円
 の増加になつて、今後はさら
 ら増加になつてまいります。
 以上、予算の大綱を申し述
 べました。昭和三十九年度
 の福生町の事業はすべてこれ
 に基づいて遂行されるわけで
 あります。今後ますます、明
 るく住みやすい町として発
 展できまふよう、町民各位の
 絶大なるご援助、ご協力を強
 くお願い申し上げます。

保険料の集金にご協力を

当町では、国民健康保険料と国民年金保険料の集金を、一
 部の地区を除いて婦人会の協力員の方々にお願いしていま
 す。ご承知のように、婦人会の方々は忙しい家庭の主婦であ
 り、大事な家庭をあつかつている方です。もし、婦人会の方
 がお宅へ集金にお伺いしましたら、集金が必ず一度で済むよ
 う、あらかじめ準備しておいて下さい。万一、お出掛け等
 のため留守にする場合は、ご近所の方々に預けるなりして
 何回も足を運ばせる場合のないよう、ご協力を願ひします

仮領収書を発行します

三十九年度から、国民年金の掛金を支払つた時は、仮領収
 書を発行することになりましたので必ずお受けとり下さい。
 毎月の集金は、二十日から三十日頃です
 厚生年金や公的年金に加入していない方は、全員が国民年
 金に加入することになって、未加入の方がおりましたら、
 役場住民課保険係にお申し出下さい。

年金の掛金は、
 三十五才未満 毎月百円
 三十五才以上 毎月百五十円

国保の保険料が若干上ります

国民健康保険は、皆さまのご理解とご協力により、順調な
 運営がなされてまいりました。しかし、この一年間を振り返ると、病氣や負傷等のため、
 医師にかかる率が増え、医療費も一段と増加しています。給
 付については昨年条例を改正し、擬制世帯主を三割負担と
 し、結核予防法及び精神衛生法に該当する方は、全額を町が
 負担することになりました。また、四月一日から助産費、葬
 祭費はそれぞれ三千円差し上げることになりました。
 このよう、給付向上により保険料が若干値上げになりま
 したので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げ

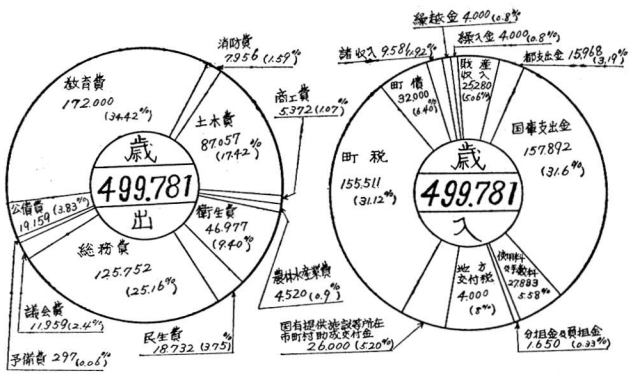
保険料率

現行	改正後
所得割 百分の一	百分の一、二
資産割 百分の二十一	百分の二十七
均等割 四百八十円	六百円
平等割 千二百円	千三百二十円

軽自動車税	固定資産税	町都民税
全	第一	第一
期	二期	二期
分	三期	三期
分	四期	四期
分	第一	第一
期	期	期
	五月三十日	七月三十一日
	八月三十一日	九月三十日
	六月三十日	十一月三十日
	十二月二十八日	一月三十一日
	五月三十日	

町税の納期

昭和39年度(一般会計) 福生町歳入歳出予算款別図表(単位千円)



歳入			歳出		
款	予算額	人口一人当り	款	予算額	人口一人当り
町税	155,511	5,563	歳入	499,781	17,873
町有地	26,000	930	歳出	499,781	17,873
町民	40,000	1,430	歳入	499,781	17,873
町支	1,656	59	歳出	499,781	17,873
町支	27,883	997	歳入	499,781	17,873
町支	157,892	5,646	歳出	499,781	17,873
町支	15,968	571	歳入	499,781	17,873
町支	25,280	904	歳出	499,781	17,873
町支	10	0	歳入	499,781	17,873
町支	4,000	143	歳出	499,781	17,873
町支	4,000	143	歳入	499,781	17,873
町支	9,581	343	歳出	499,781	17,873
町支	32,000	1,144	歳入	499,781	17,873
町支	499,781	17,873	歳出	499,781	17,873

昭和39年度予算総括表

会計別	本年度予算額	前年度予算額	比額増減
一般会計	499,781千円	230,700千円	269,081千円
特別会計	18,613	18,280	333
特別会計	8,978	12,011	△3,033
特別会計	9,509	9,033	476
特別会計	34,781	27,589	7,192
特別会計	45,270	45,983	△713
計	616,932	343,596	273,336

町民一人一世帯当りの予算額調べ

町民一人当り 一七、八七三円
町税負担は 五、五六三円

昭和三十九年二月一日現在 人口 二七、九五三戸
世帯 七、九六戸

福生町長選挙

日程のお知らせ

- ☆五月十二日(火) 選挙期日の告示、立候補届出受付開始、不在者投票の開始、補充選挙人名簿の申請受付開始(十三日まで)
- ☆五月十三日(水) 補充選挙人名簿登録申請締切
- ☆五月十五日(金) 立候補届出最終日
- ☆五月十六日(土) 選挙立合人名簿出最終日
- ☆五月十八日(月) 不在者投票最終日
- ☆五月十九日(火) 投票日(午前七時から午後六時まで)、即日開票(午後七時開始)
- (福生町選挙管理委員会)

固定資産税納期変更のお知らせ

固定資産評価額は、市町村による格差と資産間の格差が著るしく、その差をなくし、各市町村間の均てを保つため、評価制度の改正に伴い、全国的に固定資産の評価替えが実施されました。この結果、全国的に評価の決定が遅れ、当町でも、毎年四月の固定資産税第一期分の納期を、今年度限り一ヶ月繰り下げ五月を第一期と定め、通知書を発送することになりましたので、よろしくお願ひしませう。

